

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

山形県 遊佐町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	43.98	92.79	3,672

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,146	208.39	67.88
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,195	3.44	1,800.87

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



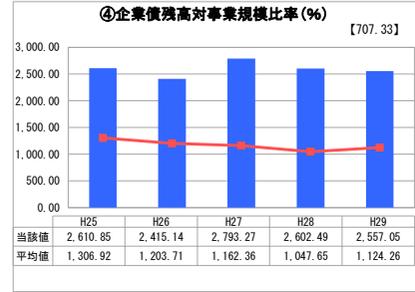
「単年度の収支」



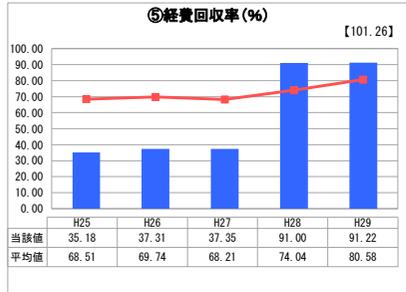
「累積欠損」



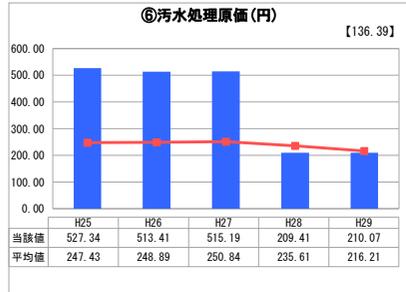
「支払能力」



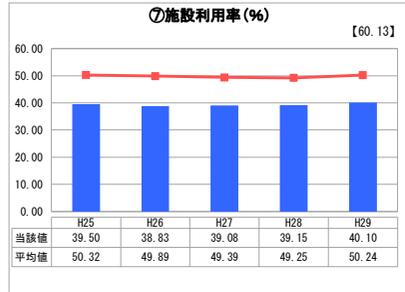
「債務残高」



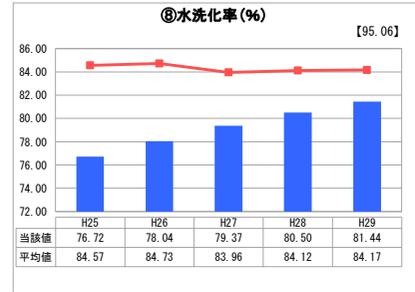
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

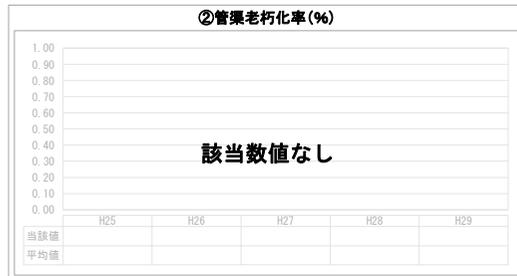


「使用料対象の捕捉」

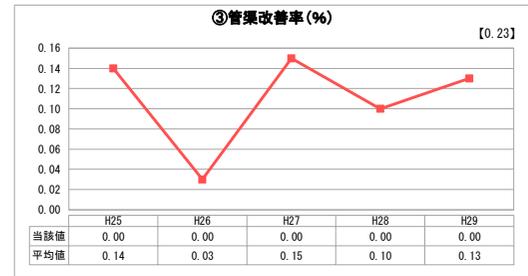
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率については、地方債償還金の増により昨年度と比較して低い数値となったが、経費回収率は微増している。
- ②企業債残高対事業規模比率については、3年続けて右肩下がりとなったが、類似団体と比較すると依然高い数値となっている。
- ③経費回収率については、昨年度より向上し、類似団体と比較しても高い数値となった。
- ④汚水処理原価については、昨年度より微増したものの類似団体と比較して低い数値となっている。
- ⑤施設利用率については、同処理場で特定環境保全公共下水道事業も処理しており処理水量を分けて計上しているため数値は低いが、右肩上がりで推移している。
- ⑥水洗化率については、類似団体と比較して低い数値で推移しているが改善傾向にある。整備工事が完了しているため、さらなる接続率の向上に向けた取組が必要である。

### 2. 老朽化の状況について

管渠の更新等については未着手である。法定耐用年数が経過するまで期間があるが、計画的な更新について検討が必要である。

### 全体総括

水洗化率の向上により年間有収水量と使用料収入が増加し、経費回収率の向上につながった。しかしながら地方債償還金の増により収益的収支比率は100%を下回っている。平成33年に償還のピークをむかえるまでは増加傾向が続くため、しばらくは一般会計繰入金に頼らざるを得ない状況である。健全な経営のため汚水処理にかかる経費の見直しと使用料収入の増加に向けた対策が必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。